



(I) 世論の影響

■ [1]]: 公共の問題に関する国民の意見であり、この結果が政権運営に影響を与える
世論調査の結果や、内閣支持率などを新聞やテレビで公開している。

世論を形成するにあたり、マスメディアが大きな影響を与えることから、[2]]とも表現される。
また、近年の世論形成にはインターネットやSNSを用いた[3]]の影響が大きくなっており、
情報を受け取る側も適切に情報を取捨選択する能力([4]])が求められる。

■ インターネットによる運動解禁

2013年にインターネットやSNSでの選挙運動が解禁に。身近に政治の関心を持てるようになるが、
安易な発言は注意する。また、満18歳未満の選挙運動は禁止されていることにも注意!

※ここで間違えないでほしいのが、インターネットによる「投票」はまだ実施されていないということ。

■ メディアの弊害

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では主体性が
失われつつある。メディアによって[5]]されやすいことにも繋がる。
インターネットのフィルターバブルや、ニュース番組・新聞社等の意図的な情報操作に惑わされない力が必要。

Column 世論操作の一例

(例) 石破新総裁が誕生した直後のニュース番組 左はANN(テレビ朝日) 右はNスタ(TBS)

緊縮財政・金利上昇を支持する(と言っていた)石破氏が総裁になったことで、円高が進行した様子だが、
左側はドル円相場の数字順を逆にすることによって、いかにも良くなったような印象を与える。(一般的には右側が適当)



テレビ局や新聞社も基本は中立だが、若干の偏りがある。同じニュースでも報じ方によって異なる印象を与える場合がある。

主要な新聞社はテレビ局とも

繋がりがあり、連動する。

明確な定義はないが、

朝日・毎日は左寄り(革新)

読売・産経は右寄り(保守)

日経は中立と考えられる。

	朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	産経新聞	日本経済新聞
創業	1879年	1874年	1872年	1933年	1876年
発行部数	2位 4,751,459部	1位 7,166,592部	3位 2,011,884部	5位 1,205,916部	4位 1,887,070部
関係テレビ局	tv asahi	0テレ	TBS	フジテレビ	TV TOKYO

(II) ネット時代の世論

Work ⑤ フェイクニュースに騙されないために 総務省「ニセ・誤情報に騙されないために」参照

情報が溢れる現代社会。当然すべてが正しいわけではなく、嘘やデマ、誤情報、悪意のある情報を吟味し、取捨選択できなければならない。フェイクニュースに騙されないためには何が必要か？

STEP1.実際にあったフェイクニュースを見て、これらのデマにはどんな性質があると言えるか？



① 2016年の熊本地震の際に、動物園からライオンが抜け出したデマ投稿をきっかけに、動物園への問い合わせが殺到。偽計業務妨害の容疑で逮捕された。実際は南アフリカ共和国で撮られた写真であった。

② アメリカ大統領選挙時に、「あるピザ屋の中で民主党議員が人身売買に関与している」というデマがSNS上で拡散され、信じた人がピザ屋を銃撃する事件が発生。

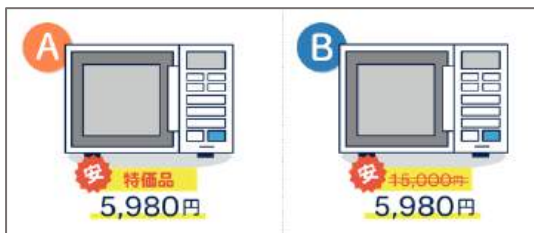
③ コロナ禍の2020年、「深く息を吸って10秒我慢できれば新型コロナに感染していない」という誤ったセルフチェックが拡散。ある県警の公式アカウントまでこの誤情報を投稿してしまった。



これらの要素をもつ情報は、共感・拡散されやすく、通常の情報に比べ[]倍の拡散スピードになる

STEP2.なぜ私たちは騙されるのか(1)

① AとBは同じ商品。どちらのレンジが気になる？



② サッカーW杯で話題となった三笥の1mm。同じプレーでなぜ賛否が分かれる？



人間は「願望や経験」「思い込み」「環境」などによって無意識のうちに偏った判断をする=[]

わかりやすく言い換えれば… 人間は自分の を選ぶ 習性がある。

この習性とSTEP1でのデマに含まれる要素がマッチして、私たちはデマに騙され拡散をしてしまうことになる。

STEP3.なぜ私たちは騙されるのか(2)

ネットニュース、SNS、検索サービスなどには、その人が欲しがりそうな情報を分析し同じような情報を表示する「フィルターバブル」と呼ばれる機能がある。TikTokやInstagramの検索、YouTubeのおすすめなど…心当たりは無いかな？これにより偏った情報に囲まれると、これが世の中の常識と錯覚し誤解する。自分が心地よい情報ばかりが流れ込み、極端に視野が狭くなった頭では…真偽を見抜ける力は無くなってしまう。





(I) 世論の影響

■ [1 **世論(せろん・よろん)**] : 公共の問題に関する国民の意見であり、この結果が政権運営に影響を与える **世論調査**の結果や、**内閣支持率**などを新聞やテレビで公開している。

世論を形成するにあたり、マスメディアが大きな影響を与えることから、[2 **第四の権力**]とも表現される。また、近年の世論形成にはインターネットや SNS を用いた[3 **ソーシャルメディア**]の影響が大きくなっており、情報を受け取る側も適切に情報を取捨選択する能力([4 **メディアリテラシー**])が求められる。

■ インターネットによる運動解禁

2013年にインターネットや SNS での選挙運動が解禁に。身近に政治の関心を持てるようになるが、安易な発言は注意する。また、満 18 歳未満の選挙運動は禁止されていることにも注意！

※ここで間違えないでほしいのが、インターネットによる「投票」はまだ実施されていないということ。

■ メディアの弊害

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では主体性が失われつつある。メディアによって[5 **世論操作**]されやすいことにも繋がる。

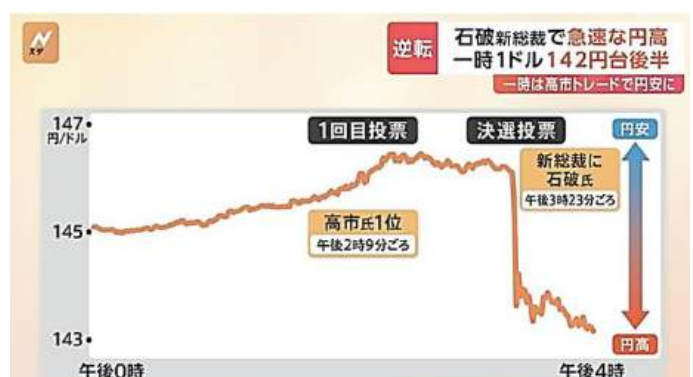
インターネットのフィルターバブルや、ニュース番組・新聞社等の意図的な情報操作に惑わされない力が必要。

Column 世論操作の一例

(例) 石破新総裁が誕生した直後のニュース番組 左は ANN(テレビ朝日) 右は N スタ(TBS)

緊縮財政・金利上昇を支持する(と言っていた)石破氏が総裁になったことで、円高が進行した様子だが、

左側はドル円相場の数字順を逆にすることによって、いかにも良くなったような印象を与える。(一般的には右側が適当)



テレビ局や新聞社も基本は中立だが、若干の偏りがある。同じニュースでも報じ方によって異なる印象を与える場合がある。

主要な新聞社はテレビ局とも

繋がりがあり、連動する。

明確な定義はないが、

朝日・毎日は左寄り(革新)

読売・産経は右寄り(保守)

日経は中立と考えられる。

	朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	産経新聞	日本経済新聞
創業	1879年	1874年	1872年	1933年	1876年
発行部数	2位 4,751,459部	1位 7,166,592部	3位 2,011,884部	5位 1,205,916部	4位 1,887,070部
関係テレビ局	tv asahi	0テレ	TBS	フジテレビ	TV TOKYO

(II) ネット時代の世論

Work📌 フェイクニュースに騙されないために

総務省「ニセ・誤情報に騙されないために」参照

情報が溢れる現代社会。当然すべてが正しいわけではなく、嘘やデマ、誤情報、悪意のある情報を吟味し、取捨選択できなければならない。フェイクニュースに騙されないためには何が必要か？

STEP1.実際にあったフェイクニュースを見て、これらのデマにはどんな性質があると言えるか？



① 2016年の熊本地震の際に、動物園からライオンが抜け出したデマ投稿をきっかけに、動物園への問い合わせが殺到。偽計業務妨害の容疑で逮捕された。実際は南アフリカ共和国で撮られた写真であった。

② アメリカ大統領選挙時に、「あるピザ屋の中で民主党議員が人身売買に参与している」というデマがSNS上で拡散され、信じた人がピザ屋を銃撃する事件が発生。

③ コロナ禍の2020年、「深く息を吸って10秒我慢できれば新型コロナに感染していない」という誤ったセルフチェックが拡散。ある県警の公式アカウントまでこの誤情報を投稿してしまった。

意外性がある・人に言いたくなる・正義感を駆り立てる・根拠のない願望・知名度が低い

これらの要素をもつ情報は、共感・拡散されやすく、通常の情報に比べ[6]倍の拡散スピードになる

STEP2.なぜ私たちは騙されるのか(1)

① AとBは同じ商品。どちらのレンジが気になる？



② サッカーW杯で話題となった三笥の1mm。同じプレーでなぜ賛否が分かれる？



人間は「願望や経験」「思い込み」「環境」などによって無意識のうちに偏った判断をする=[**認知バイアス**]

わかりやすく言い換えれば…

人間は自分の **信じたいもの** を選ぶ

習性がある。

この習性とSTEP1でのデマに含まれる要素がマッチして、私たちはデマに騙され拡散をしてしまうことになる。

STEP3.なぜ私たちは騙されるのか(2)

ネットニュース、SNS、検索サービスなどには、その人が欲しがりそうな情報を分析し同じような情報を表示する「**アルゴリズム**」と呼ばれる機能がある。TikTokやInstagramの検索、YouTubeのおすすめなど…心当たりは無いかな？これにより偏った情報に囲まれると、これが世の中の常識と錯覚し誤解する**フィルターバブル**という現象に陥る。自分が心地よい情報ばかりが流れ込み、極端に視野が狭くなった頭では…真偽を見抜ける力は無くなってしまう。

